

## 特定漁港漁場整備事業計画(抜海地区)の変更の概要

抜海漁港は、稚内港結氷時の大型船避難港として重要な役割を担っているが、漂砂による泊地埋没のため、十分に機能していないのが実態である。漂砂対策として、既設防波堤等の不透過改良を実施しているが、**港口から流入する漂砂は防げず、大きな課題となっている。**平成16から17年度にかけて、地元関係者や学識経験者等による**漂砂検討会**を開催し、漂砂対策に最も有効となる**港形の提言**を基に、**防砂堤の規模・配置の変更、飛砂対策等の変更**を行う。

